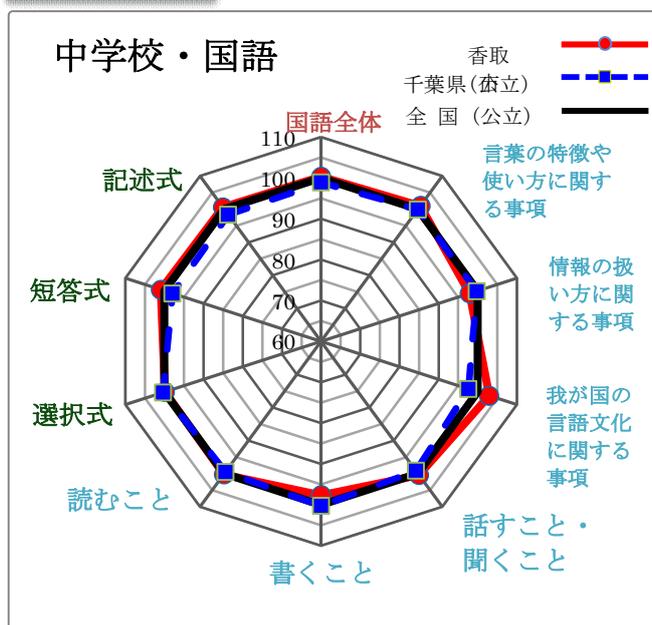


中学校・国語

傾向と課題



内容別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」

「読むこと」が全国平均を上回りました。「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」は全国平均をわずかに下回りましたが、ほぼ同程度といえます。

問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」のすべてにおいて全国平均とほぼ同程度といえます。特に、これまで課題であった「記述式」は、改善の傾向が見られました。

課題が見られた主な問題

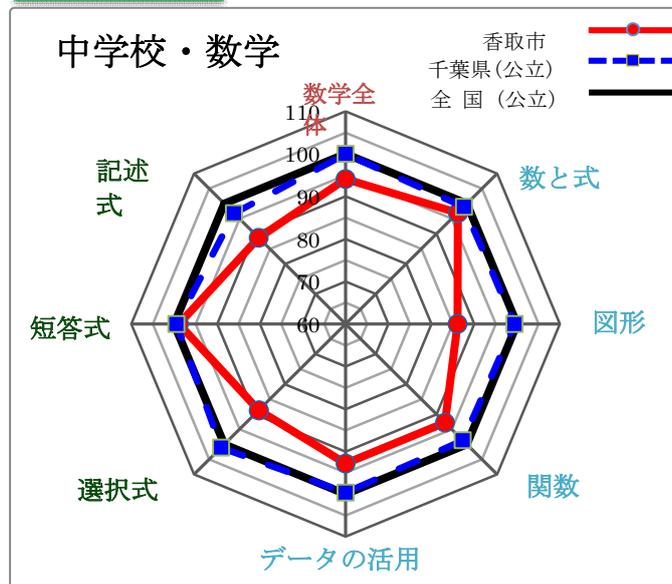
● 国語 3 一	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる 【書くこと、選択式】 [香取市 50.3% 千葉県(公立)54.0% 全国(公立)54.3%]
● 国語 4 三	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる 【読むこと、記述式】 [香取市 46.7% 千葉県(公立)48.3% 全国(公立)50.0%]
● 国語 1 二	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる 【情報の扱い方に関する事項、選択式】 [香取市 62.9% 千葉県(公立)64.4% 全国(公立)65.1%]

力を入れたい学習

- 推敲する前と後の文章を比較し、書き換えた理由や意図を説明する学習活動が考えられる。その際、叙述の仕方などを直したことで、伝えようとするのが十分に書き表されているかなどを、読み手の立場に立って確かめることが重要である。
- 教科書に掲載されている現代語訳だけでなく、中学生などが楽しめそうな現代語訳などを取り上げ、文章の構成や展開、表現の効果などに着目して工夫されているところを考える学習活動などが考えられる。その際、古典の原文と比較したり関係付けたりすることで、古典の原文やその作品の世界に生徒の興味・関心が向かうように指導することが大切である。
- インタビューを行ったりレポートを書いたりする前に、目的や場面、意図に応じて資料を集め、資料から必要な情報を取り出して整理するなどの学習活動が考えられる。その際、資料の内容を理解するだけでなく、意見と根拠などの関係に注意して、情報と情報の結び付きについて捉えることができるように指導することが大切である。

中学校・数学

傾向と課題



領域別では、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべてにおいて全国平均を下回っており、特に「図形」は、全国平均を100とした場合、香取市が86.1となる結果でした。

問題形式別でも、「選択式」「短答式」「記述式」すべてにおいて全国平均を下回っています。特に「選択式」「記述式」は、全国平均を100とした場合、どちらも香取市が88.7となる結果でした。

課題が見られた主な問題

● 数学9(1)	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる 【図形、記述式】 [香取市 23.9% 千葉県(公立)31.1% 全国(公立)32.1%]
● 数学4	反比例の意味を理解しているかどうかをみる 【関数、選択式】 [香取市 36.1% 千葉県(公立)42.1% 全国(公立)42.8%]
● 数学1	自然数の意味を理解しているかどうかをみる 【数と式、選択式】 [香取市 40.6% 千葉県(公立)47.3% 全国(公立)46.1%]

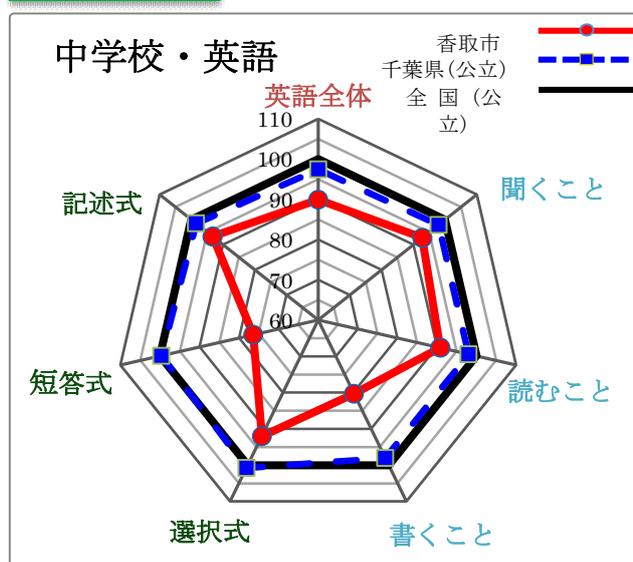
力を入れたい学習

- 構想を立て、それに基づいて仮説から結論を導く推論の過程を数学的に表現できるように指導することが大切である。例えば、2つの直線が平行であることの根拠となる事柄を捉え、その事柄を与えられた条件から導く過程を考えるとといった構想を立てる活動を取り入れることが考えられる。
- 反比例の意味を理解できるようになるためには、反比例の特徴を表や式などに関連付けて捉えるように指導することが大切である。また、伴って変わる2つの数量を見い出して、その関係に着目し、目的に応じて、表、式、グラフを用いて、2つの数量の変化や対応の特徴を考察し、どのような関数関係にあるかを判断できるように指導することが大切である。
- 新しく捉え直した数の集合の定義に基づいて、様々な数の中から自然数や整数を判断する活動を取り入れることが考えられる。その際、小学校算数科では整数を0と正の整数を合わせたものとして捉えていたことを振り返り、中学校数学科では、負の整数を加えて捉え直し、整数の意味について理解を深めることが大切である。

中学校・英語

傾向と課題

※「話すこと」調査における香取市の結果は非公表



領域別では、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のすべてにおいて、全国平均を下回る結果でした。特に「書くこと」は、全国平均を100とした場合、香取市が80.3となる結果であり、大きな課題といえます。

問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」のすべてにおいて、全国平均を下回る結果でした。特に「短答式」は、全国平均を100とした場合、香取市が76.4となる結果でした。こちらも大きな課題といえます。

課題が見られた主な問題

● 英語9(2)	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる 【書くこと、短答式】 [香取市 20.2% 千葉県(公立)28.0% 全国(公立)29.0%]
● 英語1(1)	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる 【聞くこと、選択式】 [香取市 70.3% 千葉県(公立)78.6% 全国(公立)79.0%]
● 英語7(1)	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる 【読むこと、選択式】 [香取市 51.1% 千葉県(公立)59.5% 全国(公立)59.8%]

力を入れたい学習

- 言語の使用場面やコミュニケーションを行う相手との関係性を意識し、場面や状況に応じた適切な表現を選択することが重要である。例えば、教科書における登場人物の設定を変更し、適切な表現や言い方に直して音読する活動や、既習の表現を同じ言語の働きごとに分類したり、同じ言語の働きをもつ表現同士を比較して相違点を考えたりする活動が考えられる。
- 自然な速さで話される音声を聞いて、語と語の連結による音変化や強勢による英語特有のリズム、イントネーションになれる学習活動や、意味のまとまりを意識しながら区切って聞いたり音読したりする活動が考えられる。
- 短い説明やエッセイ、物語などの文章全体を読んだ上で、時系列に情報を整理したり、書き手が伝えたいことの大まかな内容を把握したりする活動が考えられる。また、それぞれの情報の関係を示す接続詞に注目させながら文章の流れを理解したり、キーワードを拾い、全体としての内容を数文の英語でまとめたりする学習活動が考えられる。